

# 岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集

## 投稿規程

(平成10年7月22日教授会決定)

改正 平成14年6月19日

平成15年11月19日

### 1. 総 則

- (1) 本誌は岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集（以下「研究論集」という。）と称する。
- (2) 本誌は原則として毎年度1回刊行する。
- (3) 投稿者は原則として本学部専任の教員とする。ただし、編集委員会が認めればこの限りではない。

### 2. 原稿の種類

原稿は研究（原著）論文、研究ノート、総説および書評、資料、調査報告、翻訳等（以下「論文等」という。）とし、未公開のものに限る。使用する言語は日本語、英語、仏語、独語等とする。

### 3. 原稿の受付

投稿原稿の締め切りは、原則として毎年10月末日とする。

### 4. 原稿の掲載

投稿原稿の採択は、編集委員会によって選出された査読者の意見を参考に行ない、原稿の種類分けおよび掲載の順序は、編集委員会において決定する。

### 5. 著作権（複製権および公衆送信権）の取扱い

- (1) 研究論集に掲載する論文等の著作権（複製権および公衆送信権）は、編集委員会が論文等の最終原稿を受理した時点から岩手県立大学盛岡短期大学部に帰属するものとする。
- (2) 前項の規定に関わらず、著作者本人が自らの論文等を利用することは原則自由とする。

### 6. 抜き刷り

執筆者には1編につき、抜き刷り50部を贈呈する。それ以上は執筆者負担とする。

### 7. その他

本誌の発行に関して生ずる必要事項は、そのつど編集委員会において決定する。

#### 附 則

この規程は、平成10年7月22日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成14年6月19日から施行する。

#### 附 則

1. この規程は、平成15年11月19日から施行する。
2. この規程の施行日前に研究論集に掲載された論文等の著作権（複製権および公衆送信権）は、著作者が当該個別の著作物ごとに著作権（複製権および公衆送信権）を岩手県立大学盛岡短期大学部へ譲渡することについて承諾した時点から本学に帰属するものとする。

## 原稿執筆要領

### 1. 原稿の記述

- (1) 用紙サイズはA4版とする。
- (2) 投稿原稿は原則としてワードプロセッサで作成する。
- (3) 形 式
  - a. 和文は縦書き、横書きとも1ページに11ポイントで32字×25行（800字）とし、欧文はダブルスペースで1ページ25行とする。
  - b. 原則として、表題、英文抄録と英文抄録の日本語訳、本文、注、表・図・写真の説明、文献、謝辞の順に作成する。

- c. ページ番号はタイトルを記述した表題のページを1ページとし、以下用紙の下方中央に連続した番号を付ける。

## 2. 原稿の枚数・構成

- (1) 図・表・写真は1点につき、A4版用紙1枚とみなす。
- (2) 原稿枚数は図・表・写真を含め、以下の範囲内とする。

	研究論文・総説・資料 ・調査報告・翻訳	研究ノート・書評
自然科学	和文原稿：20ページ 欧文原稿：30ページ	和文原稿：10ページ 欧文原稿：15ページ
人文・社会科学	和文原稿：40ページ 欧文原稿：50ページ	和文原稿：20ページ 欧文原稿：25ページ

## 3. 原稿提出

- (1) オリジナル原稿1部、コピー原稿2部（査読用）、フロッピーディスク1枚とする。
- (2) 表紙は、上半分にタイトルと著者名、下半分に原稿の種類、原稿の形式・構成、執筆者氏名等を記載する。

## 4. 査読

- (1) 受領された論文は2人の査読者によって査読される。
- (2) 査読者は編集委員会で決定し、査読者の名前は公表しない。
- (3) 執筆者は査読意見に従って修正した原稿を返送する。但し、どうしても納得しがたい査読意見については、編集委員長宛に文章でその理由を明示する。

## 5. 校正

- (1) 査読意見に基づき修正後に採用となった論文は執筆者が校正を行う。
- (2) 初校：執筆者は速やかに且つ慎重・正確に1回目の校正をされたい。
- (3) 執筆者の校正は2校以内を原則とする。
- (4) 校正は活字の誤植、誤字及び欠字の修正程度とし、原文の大幅な変更は認めない。
- (5) 修正稿は、確認印を押印の上提出すること。
- (6) 大幅な修正が要求された場合は、編集委員会が著者と協議し、判断する。
- (7) 出版後の正誤の訂正は責任校了しているので行わないが、編集委員会や印刷所の責任が明白な場合はこの限りではない。

## 6. 執筆細則

- (1) 単位及び単位記号は原則としてSI単位系（JISZ 8203 参照）とする。
- (2) 英文抄録（Abstract）は本文の前に置く。
- (3) 図・表の文字、説明（自然科学系）
  - a. 原則として英文とし、図にはFig.1、Fig.2、表にはTable.1、Table.2のように通し番号を付ける。
  - b. 図・表・写真の表題と概略的な内容の説明は別の用紙に英文で記載する
  - c. 本文の欄外に図・表・写真の挿入個所を明示する
- (4) 注・引用文献の表記
  - a. 本文中の注及び引用文献の表記は右肩付けとし、引用順に通し番号を付ける。
  - b. 著者の表記は2人以下の場合は姓を記し、3人以上の場合は最初の姓とし、漢字の場合は「ら」を、英文の場合は「et al.」を付ける。
  - c. 本文の注及び引用文献の書式は下記の通りとする。
    - ・ 雑誌の場合：論文タイトル、雑誌名、巻、ページ、年号の順。
    - ・ 著書（単行本）の場合：論文タイトル、書名（編著）、（巻）、ページ、出版社、出版都市、年号の順。
- (5) 共同著者の学部が異なる、あるいは学外者の場合は本文の表紙上の著者名先頭に※印を付け、本文表紙の枠外に※印と所属を明記すること。